

年	組	名前
---	---	----

県内いじめ3739件

文部科学省が10日に発表した問題行動調査で、2012年度に県内の国公私立の小中高・特別支援学校で把握されたいじめ件数は3739件（前年度比1345件増）に上り、過去10年で最多となった。児童生徒千人当たりは28・9件（同10・6件増）で全国で8番目に多かった。一方、いじめの「解消率」は78・5%（同4・5%増）にとどまり、全国で3番目に低かった。

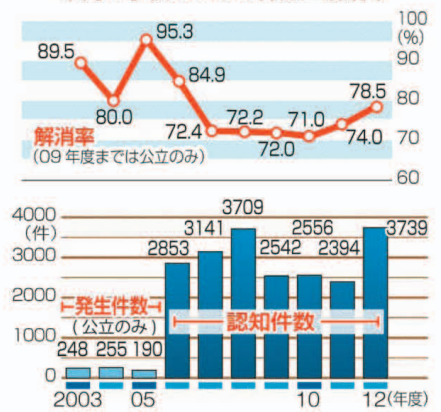
把握増え10年間で最多

「解消率」は78%どまり

県教委生徒指導推進室は、件数が増えた背景について「全国的にいじめ問題が注目され、深刻度が低いものも把握されるようになったため」と分析。解消率の低さは「安易に大丈夫だと判断せず、慎重に対応している結果」とみている。同室によると、学校の内訳では▽小学校 2354件（同988件増）▽中学校 1111件（同295件増）▽高校 264件（同63件増）▽特別支援学校 2件（同1件減）。いじめの原因には他校への転学や退学は10件、自殺者はいなかった。公私立校で把握したいじめの内容（複数回答）で最も多かったのは「冷やかされること」で66・5%。次いで「仲間外れ、集団による無視」23・7%、「軽かぶつかったり、遊ぶふりをしたたたくなど」21・2%。ネットいじめを含む「パソコンや携帯電話などによる中傷」は2・0%だった。同室は「いじめを把握できていることは成果でもあり、件数が多いことを悪いとは考えていない。これまでも積極的に把握する姿勢だったため、増え幅は他の自治体と比べると小さい。今後はいじめの早期発見と早期解消を学校現場にお願している」としている。県教委は本年度から、いじめを未然に防止するため電話での相談態勢を強化した。さらに、早期解決に向け、専門家が学校現場に向かい支援する「いじめ解決支援チーム」を設置し、各校

た。さらに、早期解決に向け、専門家（公立のみ）が学校現場に向かい支援する「いじめ解決支援チーム」を設置し、各校に配備している。調査では、小中高の暴力行為の発生件数も発表された。学校別では▽小学校 53件（前年度比37件増）▽中学校 111件（同34件増）▽高校 150件（同16件増）。特に小学校の低学年で件数が増えており、同室はいじめ問題に厳格に対応する中で、ささいなけんかも暴力としてとらえるようになったため」とみている。

県内の学校のいじめ件数と解消率



(2013年12月11日朝刊19面)

2012年度に大分県内の国公私立の小中高・特別支援学校で把握されたいじめ件数が、過去10年で最多になりました。

①把握件数は何件で、前年度から何件増えたでしょう。解消率の低さは全国何番目でしょう。

.....

.....

.....

.....

②いじめの内容はどういったものがあるでしょう。どういったものが多かったでしょう。

.....

.....

.....

.....

③いじめをなくすにはどうしたらよいか、考えてみよう。

.....

.....

.....

.....